

事務事業評価表 平成25年度

政策 環境と調和する都市の構築
 施策 循環型社会の形成
 基本事業 ごみ資源化の推進

事業名 **分別・資源化等啓発事業**

[0014]

部名	生活環境部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	環境室減量推進課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>世帯</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民に江別市の排出ルールを理解してもらい、ごみを適正に排出してもらう 市民の減量化・資源化についての意識を高める。
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化・資源化の推進に向けた啓発のため、出前講座を開催する。 ごみ資源物の分別、排出が正しく行なわれるように分別の手引き、「収集日カレンダー」を作成し全世界帯に配布する。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	世帯数	世帯	53,518	53,923	54,581	54,581
対象指標2						
活動指標1	ごみ資源物の収集日カレンダー配布枚数	枚	85,000	85,000	86,000	105,000
活動指標2	講習会(出前講座等)開催回数	回	23	17	17	15
成果指標1	講習会(出前講座等)参加人数	人	667	496	530	500
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	3,086	3,153	2,343	3,783
正職員人件費(B)		千円	17,732	16,052	16,032	16,112
総事業費(A)+ (B)		千円	20,818	19,205	18,375	19,895

費用内訳	
24年度	報償費 54千円、需用費 69千円、委託料 2,220千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始
背景

事業を
取り巻く
環境変化

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由・
根拠は？

ごみの減量化・資源化の啓発は、市の廃棄物処理を円滑に進めるため、ごみの分別排出のルールを周知するとともに、市民の意識・行動の変革を促すものであるから、行政が中心となって行うことは妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由・
根拠は？

ごみの排出ルールを正しく理解してもらい、減量化・資源化の意識啓発を図る本事業は、ごみ資源化を進めるための根幹となるものであり、貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由・
根拠は？

ごみの適正排出及び減量化・資源化に不可欠な「分別の手引き」、「収集日カレンダー」の定期発行により一定の成果は出ていると判断されるが、より多くの市民にごみの減量化の必要性を理解してもらうため、出前講座のさらなる充実に向け検討を要する。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

ごみの適正排出及び減量化・資源化について理解を深めてもらうため、出前講座の参加人数の増加に向け工夫、啓発を行う余地はある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由・
根拠は？

「分別の手引き」について、市民にとってよ分かり易い内容となるよう心がけつつ、一定の範囲内での有料広告を掲載することにより、誌面の充実と経費の節減を図ることは可能である。